

あかしん

各種地図調整・印刷／地理情報システム
立体地図・地図模型・地図パネル・地図掛け軸
オンデマンドデジタル印刷・大判ポスター出力



株式会社 **アルファ出版**

〒461-0004 名古屋市東区葵一丁目15番18号
オフィスサンゴヤ 6F

TEL.052-931-1009 FAX.052-932-1312

http://www.alpspublishing.co.jp/

わが町、わが店、この道一筋。出逢いとコミュニケーション あかい新聞店ホームページ http://www.akai-shinbunten.net <発行所>あかい新聞店 武豊店/知多郡武豊町字金下37番地 ☎<0569>72-0356 常滑店/常滑市市場町4丁目167番地 ☎<0569>35-2861 企画・制作：株式会社 新聞ビル

元気のでてくる“ことばたち”

159

村上信夫

(アナウンサー)



Nobuo Murakami

きた。母は、漢字の形だけでなく意味もわかりやすく教えた。字を右上がりに書くことを教えるために、坂道を何度も上り下りして体で覚えさせた。

20歳で初めての個展を開いてから、どんどん活躍の場を広げてきた。鎌倉・建長寺では毎年個展を開き、京都・建仁寺では依屋宗達の「風神雷神図」の隣に、翔子さんが「風神雷神」と揮毫した書が展示されている。翔子さんの、ときには「英雄しく、

私はいま

書家 金澤翔子さん

10歳で般若心経を書き上げたが、その根気や集中力はすごい。何度やってもうまく書けなくて、叱られた。母は、娘が泣いてもやめさせなかった。やっと一行が終わったとき畳に手をついて「ありがとございました」と言われ、母は、涙があふれて止まらなかった。アンバランスな字の羅列なのに、それが集団としてひとかたまりとなると、不思議なバランス感覚が生まれてきた。今から考えるとこれが、書の道が開けたときかもしれない。

ときには「優しく包み込む」ような書は、多くの人の心を動かしている。

翔子さんは1985年6月生まれ。ダウン症は、染色体が通常より1本多いことで、成長の過程がかなりゆっくりしていたり、心臓疾患などの合併症を伴ったりすることもある先天性の病気だ。翔子さんは、5歳頃から、書家である母の泰子さんの手ほどきを受けて

うらやましい生き方

翔子さんは1985年6月生まれ。ダウン症は、染色体が通常より1本多いことで、成長の過程がかなりゆっくりしていたり、心臓疾患などの合併症を伴ったりすることもある先天性の病気だ。翔子さんは、5歳頃から、書家である母の泰子さんの手ほどきを受けて

父の裕さんは、翔子さんが14歳のときに突然、他界した。だが、翔子さんは、父の死を悲しまなかった。「大丈夫、お父様は天国から全部見ているから、心配しなくていいよ」父は生前「翔子が20歳になったら、個展を開こうよ」と言っていたが、それが20歳で本当に

翔子さんの好きなことを紹介しておこう。ラッキーカラーはピンク。料理



俳画/イネ・セイミ

村上信夫プロフィール

NHKエグゼクティブアナウンサー
1953年、京都生まれ。
明治学院大学卒業後、1977年、NHK入局。
富山、山口、名古屋、東京、大阪に勤務。
現在は、『ラジオビタミン』担当。(ラジオ第一 8:30~11:50)
これまで、『おはよう日本』『ニュース7』『育児カレンダー』などを担当。
教育や育児に関する問題に関心を持ち続け、横浜市で父親たちの社会活動グループ『おやじの腕まくり』を結成。
趣味は、将棋。
著書に『元気のでてくることばたち!』(近代文芸社)、『おやじの腕まくり』(JULA出版局)、『いのちの対話(共著)』(集英社)、『いのちとユーモア(共著)』(集英社)

(カレー、ハンバーグ)や掃除が得意。パソコン、携帯電話も駆使している。僕ともさつそくメル友になった。メールの返事は決まっている。「頑張ってください。私はいま」

ただ、母の泰子さんにとって、たったひとつの気がかりは、自分がこの世を去った後の翔子さんのことだ。そんな母の心配を知ってか知らずか、「お母さんは、大きな星になってね」と翔子さんが屈託なく言った。

「要求される正解を想定して答える必要がない」無垢で楽しく暮らす豊かな世界にいる翔子さんが、うらやましいくなる。

インネ・セイミプロフィール
フルート奏者として活躍中。俳画家。絵画を幼少より日展画家の(故)川村行雄氏に師事。俳画を華道彩生会家元(故)村松一平氏に師事。俳画の描法をもとに、少女、猫等を独自のやさしいタッチで描いている。個展多数。



好評発売中

屈託のない世界

翔子さんの願いは不思議とかなう。母の泰子さんに言わせると、「努力なしに、ヤスヤスと得たことが大成功するタイプ」だそう。

フルート奏者として活躍中。俳画家。絵画を幼少より日展画家の(故)川村行雄氏に師事。俳画を華道彩生会家元(故)村松一平氏に師事。俳画の描法をもとに、少女、猫等を独自のやさしいタッチで描いている。個展多数。

俳画教室開講中

常滑屋
とき 月二回 第二・第四金曜日
午後一時〜三時
会費 一回 二、二五〇円(三ヶ月分前納制)
問合せ ☎〇五六九三三五〇四七〇

先月、東大寺で個展が開かれた。ちなみに、東大寺の焼き討ちをしたのは、清盛の弟。大河の題字の話をしたら管長の顔が、八百年前のことを思い出し

何か始めたいと思ってる貴女へ。数年後、素敵にフルートを奏でる姿がそこにあります。楽しく個人レッスン致します。

おとなのフルート教室 入会受付中!!
講師 イネ・セイミ (フルート奏者 指導歴30年) (フルート安否 指導歴30年) 1レッスン・1時間5,000円(ティータイム付) 申込み 0569-89-7127 お問合せ seitime@oasis.ocn.ne.jp

勘萃の

『いった年
きた年』

柴 信次／藤間勘萃



それはちょうど一年前、大晦日の晩のことであった。

連れ合いとぼくは、NHKテレビ『ゆく年くる年』の画面の端っこで睨めっこをしていた。やがてそこに『00:00』が映し出されると、ぼくはシャンパンの栓を抜き(ポンッ)、それぞれにお気に入りのグラスに注ぎ(トクトクトク、シユワッ)、乾杯した(コチンッ)。あけまして、おめでとーっ(ゴクゴク、ゴクゴク、ぶはあ〜)とグラスを置いたその時だった。ぼくは圧倒的な悪寒に襲われ、ふるふる震えだした。「う、寒いっ!」しばらくしても悪寒が収まらないので、体温計を出してもらい脇に挟んだ。お決まりの3分が経ち(ピーッ)、連れ合いが体温計の液晶数字を読む。

「うん...大したことはないワ...37度ちよつとヨ」

「そうかなア...ホントにそれだけしかない?...相当だるいし寒いよっ!」と抗議するぼくをよそに、連れ合いは美味しそうに「おせち」を摘みながら(まだ大晦日なのに)、シャンパンをすすらせた。

一年を通して、風邪でグロッキーになることもないぼくが、こうまで打ちのめされダウン寸前なのだ:37度ちよつと?...そんなはずはないんだけどなア...

結局ぼくは、元日と二日を床に臥せったまま(真正正銘の寝正月だ)、ほとんど何も口にすることもできず、この正月的な悪寒と戦い、気味の悪い夢にうなされた。時折、体温計の厄介になるのだが、決まって連れ合いの答えは「まだちよつと熱が引かないわねエ:でも大丈夫:37度ちよつとだから」であった。37度ちよつと?...そんなはずはないんだけどなア...

新しい年も3日めになり、ようやくぼくにも、遅ればせながらの正月が到来した。おせち料理にお屠蘇、そして初詣...

考えてみれば、ほとんど年中無休で酷使している体である。それが、「あ、やつとこれで今年が終わります、ここいらでちよつとばかり休ませておくんない、親方」と、ぼくのスケジュールに差し障りのない正月休みを見計らって暇乞いしたのであれば、有り難いこ

とであったし、まったくもって意地らしいことでもあった。そんなことに思いを巡らせ、しみじみとしていたぼくを悪戯っぽく覗き込んで、連れ合いは言うのだった。「ホントはねエ、37度ちよつとじゃあなくて、もうちよつとあったのヨ:ずうつと38度6分くらい(おいおい、これは人の生き死にに関わることだぜ!)彼女のユーモア(思いやり?)は、いつだってこんなふうだ。

春は花〜♪いざ見にごんせ東山〜♪色香あらず夜桜〜♪

端唄『京の四季』より

冬の寒さが遠のき、景色は春特有のぼんやりとした霞みに覆われ、「お花見が待ち遠しいなあ」と思う頃であった、本来なら...

3月11日、牙を剥いたこの星が、大地を揺るがし、海をぶちまけて多くの人々を呑み込み、彼らのふるさとをえぐり取っていった。

この日ぼくは、3ヶ月ばかりかけて編曲したオペラの本番を翌日に控え、ホールでのゲネプロ(通し稽古)に立ち会っていた。ホールに缶詰になりながらも刻々と知ることになった事の大きさ:その間ぼくを捉えていたのは、夢半ばで人生が何の前触れもなく幕切れになってしまった方々の無念だった。こうして辛うじて生きながらえることのできた者は、何が何でも彼らに恥じることのない今日を生き抜かなければならない。そんな覚悟もあり、その翌日と翌々日、オペラは怯まずに上演された。

指揮:金 正奉
演出:薮川直子
出演:重左恵里(ピアノ)、中瀬梨予(ヴァイオリン)、佐藤 光(チェロ)

まず、貴婦人ふたりが登場して、自分たちが如何に一途な恋をしているかを大袈裟に歌い語る。一方、恋の相手である男たちは、それぞれのカノジョの貞節を賭けて、相手を取っ替えて言葉巧み(歌巧み?)に口説いてみる。これもあろうに女たちはまんまと口説き落とされてしまう(ジャン、ジャンッ)。男たちは怒ったり嘆いたり、女たちはキマリ悪いことこの上ない。拳げ句の果てに、「女つてえ〜!こういいうものなのよお〜!」と聞き直って大団円(バ・カ・ッ・ルのオン・パレードだ)。

それから二週間後、ぼくは古川美術館分館『為三郎記念館』(名古屋市中種区)に向いた。演目は、ぼくがかつて劇音楽を添えた木下順二作『絵姿女房』の10年振りの再演。初演ではヴィオラとバロック・リュートで音楽を添えたが、今回は、チェロを加えてのお化粧直し:ちよつとだけ豪華版になった。

♪『為三郎記念館 春の夕べコンサート』

主催:やまのて音楽祭2011 3/26(土)

古川美術館分館『為三郎記念館』
共演:山田あき子(朗読)、吉田浩司(名古屋フィルハーモニー交響楽団)
首席ヴィオラ奏者)、酒泉 啓(名古屋フィルハーモニー交響楽団)
楽団次席チェロ奏者)ほか。

働き者の孫三郎は女房にベタ惚れ。畑仕事に行くにも女房の絵姿(今でいう写真?)を持ち歩く始末。ある日、絵姿が風に飛ばされ、お城の松の木に引っかかる。おバカな殿様がその美しい女房に横恋慕して...孫三郎と女房の運命や如何に!

舞台も無事ハネて、「さてと、軽く打ち上げにでも繰り出すとしますか?」なんて相談しながら歩き始めたところへ、「柴さ〜ん、忘れもの〜!」と遠くで叫ぶスタッフの声。為三郎記

♪名古屋市西文化小劇場 サロンオペラ モーツァルト作曲 『コジフアン・トゥツテ』
主催:名古屋市西文化小劇場
制作:関西二期会
3/12(土)、13(日)
名古屋市西文化小劇場ホール (名古屋市西区)



写真提供:やまのて音楽祭2011



写真提供:やまのて音楽祭2011



写真提供:やまのて音楽祭2011

念館の茶室で待たせたままにしていた連れ合い:ぼくがこれまでにした忘れものうちで、最もふくよかな忘れ物だった:すまん。

みそぎぞ〜♪夏は打ち連れて〜♪河原に集う夕涼み〜♪

端唄『京の四季』より

シユンスケ君の合格祝い

幼稚園の年長さんの頃から稽古に通ってきたシユンスケ君。その彼がこの春、中学生になった(ぼくも年をとるわけだ)。お受験の合格祝いに母方の叔父さんからももらったプレゼントは:5月20日:お父さんといっしょに車で名古屋を出発し、京都で叔父さんと合流。

5月21日:三人で車で尾道へ移動し、そこから自転車を6時間半漕いで今治へ。

5月22日:フェリーと自転車で再び尾道へ。

中学生になったばかりの男の子に、叔父さんから合格祝いが届く。開けてみるとそれは、自転車を漕いで瀬戸内海を渡る...という冒険だった。まるで映画みたいだ。

恭祝至極なるファックス

梅雨のある日、アトリエのファックスに一通のうれしい便りが舞い込んだ。送り主は、春にもお邪魔した古川美術館。それにはこう書かれていた。「開館20周年を迎えるこの美術館が、それを記念した『秋天の興』と名付けたイベントを秋に開催すること:美術館分館『為三郎記念館』の庭園に木曾檜を使って特別に設営される三間(約6メートル)四方の能舞台がステージとして用意されること:出演を依頼した能楽大倉流小鼓方の久田舜一郎氏からぼくとの共演のご所望があったこと:...久田氏は、大倉流15世宗家であり、重要無形文化財総合指定保持者であること」などなど。

重要無形文化財だっけ？それってもしかして…えーっ!!興奮のあまりぼくの心臓は飛び出し(むにゅっ)、とても藤間流とは思えない振りであトリエ中を踊り回り(ぶによん、ぶによん)、またぼくの胸の中に収まった(むにゅっ)。恭悦至極ともいふべき「一騎打ち」を覚悟したぼくがいちばんに考えついたのは、「そうさなあ、まずはダイエツトをしなくちゃな。それも、ジュンスケ君みたいに自転車を漕いで…」というものだった(えーっ、そっちー?)。

そんなふうで、ここからは、できれば地図を傍らに読んでいただけると嬉しいですよ。

『第1回・真夏の自転車ダイエツト!!』

まずは軽くウォーミング・アップ：金山(名古屋市中区)にあるぼくのアトリエから枳中(昭和区)での出稽古へ!!所要時間25分。

その帰り：枳中(昭和区)↓石川橋(昭和区)↓山崎川を南下↓瑞穂運動場(瑞穂区)↓呼続大橋(南区)↓宮の渡し(熱田区)↓金山(中区) || 所要時間：1時間30分。

徐々に荒行はエスカレートし：金山(国府宮(稲沢市))の出稽古 || 所要時間：往復3時間20分。

ついに：金山⇄木曾川町(一宮市) || 所要時間：往復5時間20分。
16インチのタイヤ(普通の自転車の26インチ)の付いた折りたたみの自転車でもちよち走った夏は、ぼくのサ・ロ・インやらロ・スやらから、7kgの余分を削ぎ落としてくれた。

真葛ヶ原に〜♪秋はそよそよと〜♪秋色増す華長山〜♪

端唄『京の四季』より

久田舜一郎氏(小鼓)との一騎打ちの日。ぼくは、バロック・リュート、バロック宮廷楽師の装束、縫い紋の入った袖の着物、譜面…などを両手に、連れ合いの方は助六寿司(?)を片手に、

決戦の地『為三郎記念館』を目指した(といっても車で15分くらいいんだけどね)。

ちなみに『為三郎記念館』は、昭和9年に建てられた数寄屋建築の日本家屋と、5本の椎の木をはじめとする木々に囲まれ自然の傾斜を生かした庭園、そして、そこに佇む茶室からなる、まさに都会の中の別天地だ。

古川美術館開館20周年 庭園檜舞台『秋天の興』と題された6日間にわたるシリーズの初日とあって、檜舞台の設置と音響設備の調整が、リハーサルの際に間に合わず、ほとんどぶっつけ本番と相成った。

♪鼓楽の頌 秋に祝ぐ久遠の響き

主催：公益財団法人 古川知足会 10/4(火)

古川美術館分館『為三郎記念館』 手塚 恵(朗読)

「ポンツ」和小鼓の音が庭園の静寂を切り裂き、響き散った。幕開けの『翁』「いよっ、ポンツ」久田氏の力強い声も交わる。「よお、ポンツ」よお、ポンツはあ〜っ、ポンツ久田氏と小鼓は組んづ解れつし、やがて「はあ〜(長く延ばされた声)が庭園に消え入り)ポンツ」

(演奏者立ち代わって)宮廷楽師の装束で舞台上上がったぼくは、300年前のドイツ(バッハゆかりのライプツィヒ)から時空を越えてこの日本庭園に彷徨い込んでしまった…といった小芝居を打って、バツハの『主よ人の望みの喜びよ』をドイツ語で弾き歌い、『ガヴォット』を弾いた。

(久田氏が再び登場)いよいよ7kgのダイエツトまでして挑んだ即興演奏によるコラボレーション。「タ・ターン♪タタタ♪タツカ♪タツカ♪ターン♪」などと、ぼくが手裏剣のごとくバツハの断章を千切っては投げ、千切っては投げするのだが、氏は「いよっ、ポンツ♪」と椎の木の梢に飛び乗りニコニコとぼくを見下ろしたかと思えば、今度は「よお、ポンツ♪、よお、ポンツ♪」と池の水面を正座したままパシヤパシヤ

と跳ね回ったりもする。それは、妖術であった。もはやこれまで…といったぼくの「タツカ♪タタタ♪タタタ♪タタタ♪タタタ♪ターン」へ、「はあ〜(長く延ばされた声)が庭園に消え入り)ポンツ」

終わってみればまさに夢うつつの10分間であった。



写真提供：古川美術館

休憩時間のうちにバタ臭い宮廷楽師の装束から縫い紋の入った袖の着物に着替えたぼくは、後半の『野宮(源氏物語より)に舞と背景音楽を添えた。



写真提供：古川美術館

思いぞつもる〜♪ 円山に〜♪今朝も来て見る雪見酒〜♪

端唄『京の四季』より

11月24日、毎年恒例『ドームやきものワールド』(ナゴヤドーム)へ足を運んだ。こだわりの器から日常使いの器までが全国の有名産地から大集合!ぎつしりと並んだ300を超えるブース(出店)が織りなすまるで緑日のような露地を連れ合いと時折はぐれそうになりながら縫い歩いていく。

(よつこらしょーの、しよつと) みたらし、ウーロン茶、抹茶のソフトクリームで、ちよつといっぐ。

例年なら、目を惹いたものを思い切りよく買い求めていくのだが、今回は調子が乗らない。あとで思い当たったのだが、それはきつと、最近読んだ2冊の本…『ものを減らして、必要なものだけに「小さな暮らし」で軽やかに生きる』(主婦の生活シリーズ)と、祥見知生著『器、この、名もなきもの』(里文出版)に論ざれてのことだったにちがいない。

連れ合いはといえば、萩の汲み出し揃いの前でかなり迷っていたのだが、最後に彼女を射止めたのは、土産ものの『ニラまんじゅう』(14個入り)と『小籠包』(12個入り)だった。わざわざ「やきものワールド」へやって来て、蒸しものだけ買ってどーすんだよ!!

そうこうするうち明けたこの年は、まずはこんな滑り出しでございます。

◆プロフィール

文・柴 信次(しば しんじ) / 藤間勘萃(ふじま かんすい)

1958年、名古屋に生まれる。高校在学中より舞台上立ち、名古屋音楽大学では作曲を専攻する。

日本福祉大学講師(1984〜2003年、2008年を経て、現在は、作・編曲家として出版やレコーディングに、また、楽師/日本舞踊家(宗家・藤間流名執)として舞台上に数多く携わる傍ら、エッセーも執筆する。

♪『Natural Woman』



平成24年1月18日(水) 午後6時半〜 knave (大阪・南堀江)

出演 岡 茉莉(アーティスト) 柴 信次/藤間勘萃(電気ギター)

♪『宮廷楽師たちの大道芸 その1』

平成24年1月21日(土) 名古屋クレストンホテル(名古屋・栄)

♪『宮廷楽師たちの大道芸 その2』

平成24年2月9日(木) 東京第一ホテル錦(名古屋・栄)

出演

池田ゆり(ソプラノ歌手) 柴 信次/藤間勘萃 (バロック・リュートと舞)

※両日とも一般のお客さまのご入場はできません。



作り手と使い手を結ぶ工芸の森

見世 広場 工房
SHOP PLAZA LABO

画廊 市場
GALLERY MARKET

方円館



〒479-0003 愛知県常滑市金山字上砂原123 とこなめ焼御団地
TEL 0569-43-7101 FAX 0569-43-7104
E-mail hoenkan@ceramall.or.jp



知多の新鮮たまご 発酵ケイフン

(有)知多エッグ

(有)知多エッグ

知多郡武豊二ツ峯380
TEL0569-73-6341

電動ロクロコースもあります。親切、丁寧に指導いたします。



まるふく

【施設のご案内】

まるふく
1F●やきもの展示即売
●「お豆腐工房 いしかわ」
とうふ、パン、きらずあげ等 販売

2F●110名の陶芸教室
●電動ロクロコース 絵付け 手ひねり等

セビカ
1F●やきものギャラリー セビカ
月2回 個展開催

〒479-0832 愛知県常滑市松原町6丁目66番地の1
TEL(0569)35-2209 FAX(0569)34-5745
●年中無休 ●営業時間 AM9:00~PM5:00

知多四国めぐり
関連書籍販売しています



総合印刷物企画・プランニング・デザイン・印刷・加工・オンデマンドデジタル印刷・デジタルメディア企画制作

半田中央印刷株式会社

〒475-0032 愛知県半田市潮干町1番地の21 TEL (0569) 29-2525 (代) FAX (0569) 29-4500
URL <http://www.handa-cp.co.jp> E-mail main@handa-cp.co.jp

グループ会社
プリ・テック株式会社 ● プリテックメディア株式会社 ● トーヨー印刷株式会社

- ・常滑陶芸作家特選50人による陶芸作品
- ・古布・ちりめん小物
- ・布製カバン・ボタン多種
- ・創作服など

常設展示しております。
《定休日のお知らせ》
毎週水・木曜日、第1・第3土曜日



陶芸サロン
陶美園

〒479-0838 常滑市鯉江本町6丁目36番地 ☎(0569)35-2320

Quality Foods

イシハラフードは お客様と共に
「安心」「安全」「おいしさ」を食品を通して考えています。



確かな味、信頼の品質、地元商品の育成。
わたしたちには「こだわりの商品」がたくさんあります。

恒例の白老 酒蔵開放のご案内

酒蔵弁当好評受付中

古式伝承 白老

日時/2月25日(土)26日(日)午前10時~午後3時
入場料500円 名鉄常滑駅より無料送迎シャトルバスあり <http://www.hakurou.co>

ゆっくりお買い物がしたい方のために
先取開放 24日(金)午前10時~午後3時 *入場無料ですが、展示、見学、糟口搾りなどの試飲、送迎バスなどはありません。

澤田酒造株式会社 常滑市古場町4丁目10番地 TEL0569-35-4003

手造り陶雛大展示中

二階ギャラリーは陶雛でいっぱい。
ぜひ、ご覧ください。
3日から営業します。



花器専科
やまもと

〒479-0003 常滑市金山字上砂原105番地
とこなめ焼御団地セラモール
TEL (0569) 43-7181
FAX (0569) 43-7191
営業時間 AM10:00~PM5:00

楽しいバスの旅...

子供会・老人会・同年会 他
団体でのバス旅行は...



(株)名鉄知多バス旅行
☎0569-24-6651

親鸞

五木寛之

2012年1月14日全国一斉発売

上下巻セット
定価...3,360円

良寛

慈愛の人
杉本武之

良寛と時空を超えた
東西の偉人たちとを徹底比較
半世紀にわたる研究成果がここに結実
良寛はポランティアの先駆者だった

四六判・上製カバー装
発行...ちたろまん
ISBN978-4-88202-145-5
発売...中部経済新聞社
定価...2,100円

混迷の時代に、求められるものとは何か。
流罪の地、越後で、
親鸞の新たな物語がはじまる

本のご注文はあかい新聞店へ 常滑店/☎35-2861 武豊店/☎72-0356

葬儀のことなら...霊柩車から香典返しまで

誠意と真心であんしんのかけはし

CSK葬祭・瑞雲殿

常滑・青海

(株)シイエスケイライフ 常滑市北条1-34
電話(0569)35-2785 フリーダイヤル 0120-33-5909

ヨーロッパアンティーク展

アール・ヌーボー、アール・デコを代表する
エミール・ガレ、ドーム、ルネ・ラリックなどの
ガラス工芸品やマイセン、K. P. M.、
セーブル、ウィーンなど、王室を中心に
したヨーロッパ名窯の陶芸作品、気品溢
れるアンティーク・アクセサリーなど、18世
紀から20世紀にわたる西洋骨董の逸品を
お楽しみください。




2012年1月25日(水)→2月7日(火)

※最終日は17時に閉館させていただきます。

ドーム兄弟 小判草・矢車草文花器
[1900年頃 仏 高さ=10.2cm]

ルネ・ラリック
①「CLAIRFONTAINE」鉛筆文香水瓶 [1931年 仏 高さ=12cm]
②「FLOREAL」小立像 [1942年 仏 高さ=9.2cm]

名鉄百貨店本店[本館] 10階クローバーサロン
ダイヤルイン=052-585-2841

meitetsu
名鉄百貨店

〒450-8505
名古屋市中村区名駅1-2-1
Tel.052-585-1111
www.e-meitetsu.com

知多の動植物雑記(二八〇)

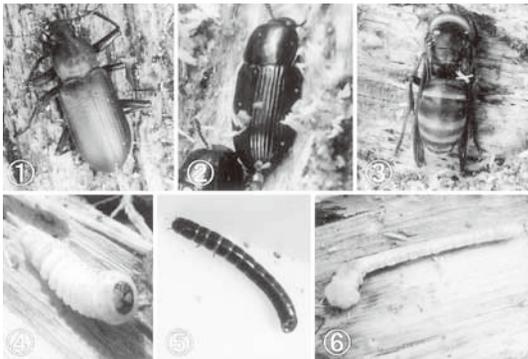
原 穰

新春を迎え、今年も元気に頑張ろうですが、今からは寒い冬となる。

でも、そんな中で思い出すのは、以前、東浦の高根の森で田中宗青年が「朽木には色々な昆虫がいます。キマワリやカミキリミシの幼虫時にはクワガタも見つかります。倒れて軟らかくなった朽木を見るのも面白いです」と言っていた。

当然のことながら、知多の自然観察会でも、一月から三月にかけて、大府、東海、半田、常滑、阿久比の各市町で朽木にすむ虫の観察会が開かれる。

私自身、去年参加した時の思い出は、虫さん大好きな親子さん達が大勢集まり、朽木の中で見つけた虫に大喜びの姿を見て、さすがーを実感。



冬の楽しみ 朽木の中の虫探し

①はキマワリの幼虫。成虫が見られたか、その一部であるが写真①はユミアシゴミムシダマシ。大きさは二・五センチ程で、足の脛節(人間なら膝)が目立たない。

ら膝から下のすねが弓状に曲がっているのが名前の由来かな？

②はエグリゴミムシダマシ。大きさは一センチ程、上翅の表面の縦筋模様はつきりしているのも特徴の一つ。

③はコガタスズメバチスズメバチの仲間。冬を越せるのは雌だけ。朽木の中で冬眠して冬を越し、翌年新しい女王蜂になる。でも女王蜂は冬眠から覚めると木の繊維をかみ砕き、唾液と混ぜて大きな円形の巣作りを始めるなど大変だ。

秋に大きな巣に近寄ると襲つて来るので要注意。

④はコクワガタの幼虫。これを知った子供さんは、家で育てたいと、朽木と共に瓶に入れニッコリ。

⑤はキマワリの幼虫。成虫は雑木林の木の下あたりによく見かけるものである。

⑥はウバタマムシの幼虫。タマムシと言えば、緑色の宝石の様な美しい昆虫であるが、ウバタマムシは茶褐色の羽根が目立たない。

町の考古学

長尾城(むかしばなしから)

(百七十一)

奥川弘成

遺跡



武豊町誌より

昭和54年に武豊町発行の「武豊のむかしばなし」に、長尾城にまつわる「長尾城興亡記」が載せられています。それは、歴史研究家の近藤英道氏によるものです。遺族の半田市博物館学芸員近藤英正氏のご了解のもと転載をします。稿の都合で前段を省略させていただきます。

昭和54年に武豊町発行の「武豊のむかしばなし」に、長尾城にまつわる「長尾城興亡記」が載せられています。それは、歴史研究家の近藤英道氏によるものです。遺族の半田市博物館学芸員近藤英正氏のご了解のもと転載をします。稿の都合で前段を省略させていただきます。

固めました。建武の中興(一三三四)後の南北朝の争いには北朝方に味方していましたが、四年後に足利尊氏が將軍となつて室町幕府を開くと、この地は園城寺に寄進され、さらに、柳原家の荘園を経て醍醐三寶院の寺領となりました。岩田氏は、出身国の縁で引き続き醍醐三寶院の荘官となり知多随一の豪族となつていきます。

また、知多北部東海岸には緒川を拠点とする水野氏が次第に力をつけてきました。さあ、岩田氏としては大変なことになりました。やむなく各所に支城を築いて対抗します。

岩田安広は剃髪して僧形となり、泉皇と号して、水野の本陣におもむきました。しかし、長尾城の將兵に待っていた運命は決して幸せなものではありませんでした。先に戸田軍に攻めとられた富貴城攻防戦先鋒として投入されたからです。

の強い者が頭を持ち上げます。知多半島南部東海岸には三河から戸田氏が入つてきて、河和を中心に勢力を持ちます。そのため力の弱まってきた二色氏は内紛をおこし、家臣の佐治宗貞が大野の宮山と内海に城を築いて、主家にとつてかわりま

冬寒の伊勢の外湯にさるほどに立冬の日差しからあつて大根漬走り根をかくす落葉の裏表震災で鮮直す去年今年庭の木の明るくなり冬に入る空にの残しおきさる寒椿逝き人の残しおきさる寒椿磨きたる番灯二つ冬来る小春日や香い鳥が大層根に雪吊の松の枝より孫の顔紅葉は手繰る出で湯のりんご狩り段段の畦道染める草紅葉遅滞きの紅葉冬分ちあう石置紅葉が照らす西明寺被災地に駆け足でくる冬の音佐助のただ一輪の際立り山嵐に吹かれてこぼす実南天北茶花の紅をこぼす雀冬焼伊勢の海赤々と染め冬夕焼五千円使つてしまふ一葉忌寡黙なる大の男の赤セター浅草寺匂いこも冬に入る炬燵にて舟こぐ人やガラス越し綾なして駆けてく落葉見送りぬ爽やかにイケメンふたり足場組む落すもの落ちて山茶花咲き始む蛇行する流る四万十冬初め下校する子を追うかに銀香散る今年ほどしみじみくや除夜の鐘感謝して元旦の水ふくみけり

Advertisement for 'The Final' anime event at Nagoya Dome. Includes event dates (Feb 17-19, 2012), ticket prices, and venue information.

若竹俳壇

冬寒の伊勢の外湯にさるほどに立冬の日差しからあつて大根漬走り根をかくす落葉の裏表震災で鮮直す去年今年庭の木の明るくなり冬に入る空にの残しおきさる寒椿逝き人の残しおきさる寒椿磨きたる番灯二つ冬来る小春日や香い鳥が大層根に雪吊の松の枝より孫の顔紅葉は手繰る出で湯のりんご狩り段段の畦道染める草紅葉遅滞きの紅葉冬分ちあう石置紅葉が照らす西明寺被災地に駆け足でくる冬の音佐助のただ一輪の際立り山嵐に吹かれてこぼす実南天北茶花の紅をこぼす雀冬焼伊勢の海赤々と染め冬夕焼五千円使つてしまふ一葉忌寡黙なる大の男の赤セター浅草寺匂いこも冬に入る炬燵にて舟こぐ人やガラス越し綾なして駆けてく落葉見送りぬ爽やかにイケメンふたり足場組む落すもの落ちて山茶花咲き始む蛇行する流る四万十冬初め下校する子を追うかに銀香散る今年ほどしみじみくや除夜の鐘感謝して元旦の水ふくみけり

- List of names and titles for the 'Ifukunashi Haikai' (若竹俳壇) section, including names like 吉田ひろし, 山田悠児, 谷川利和, etc.

像の彩(展)十三日(金)二十五日(水)
片岡秀美展 二十七日(金)二十八日(水)
武豊町歴史民俗資料館
武豊町歴史民俗資料館
武豊町歴史民俗資料館

Image of a person in a boat.
三十一日(火)の午前九時午後四時半 内容 顔を版染めして大笑いしたお福さんに仕上げます 材料費一枚五十円
いろいろあそびうめまつもようをそめよう 二十日(金)三十一日(火)の午前九時午後四時半 内容 イエロー・ピンク・ブルーを使って、春らしいかわいらしい模様を布を染めます 材料費一枚二百円
草木染めでくちなしイエローとブルーでそめよう 二十日(金)三十一日(火)の午前九時午後四時半 内容 クチナシから抽出したイエローとブルーを使い布を染めます 材料費一枚四百円 限定三十枚
五十円工作つっかさん 四日(水)二月二十九日(水)の午前九時午後四時半 内容 八角形に切ったビニールに絵を描いて、ふわりと落ちてくる落下傘を作ります 材料費一個五十円
ファミリー劇場 チケット発売のお知らせ 二月十九日(日)①午前十時半から 内容 演劇人冒険舎による、南の丘の大きな切りかぶの公演 入場料 四百円(満二歳以上全自由席) 発売日 七日(土)から 発売場所 勤労文化会館、東部岡田公民館、ふれあいプラザおよび地域文化センター(電話予約はありませぬ)

